

東京専従日誌

全日本教職員連盟
事務局次長 原井 和彦



「九月入学 慎重な審議を」

今回は、九月入学について全日教連としての考えをお伝えしたい。全国知事会から「九月入学の実現」という案が挙がっている。理由は、欧米諸国に足並みを揃えるため、または、臨時休業で学びの保障ができないため等である。全日教連として大切にしなければいけない視点は、子供たちや学校現場の教職員のことである。これに照らし様々な懸案事項がある。入試や社会との連携、教職員員の不足。また、三十以上の法律の変更が必要となる。学校は、現在新学習指導要領の完全実施や学校における働き方改革に加えコロナ対応と三重の苦労を強いられる。さらに九月入学のための教育課程を移行させることは、教職員の負担をさらに増すだけと考える。

また、来年一年生となる児童生徒は一年五カ月間の学齢児童となる。一年生と二年生が同じ教室で学習するイメージとなり、これは発達段階からみても個々の差が大きく学びの質に影響する。



様々な面から考え九月入学については慎重な審議を国や国会議員に対して要望している。今後学校現場や子供たちが安心して学びに向かえる要望活動を行って参りたい。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

五月三十日(土)、オーケラホテル丸亀にて開催予定であった第五十回香教連定期大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面議決による開催となった。議事では、令和二年度の運動の基本的な進め方の五つの柱として、

- ①「教職員の資質向上を図るための充実した研修活動」
- ②「郷土に誇りをもてる児童生徒の育成」
- ③「よりよい教育現場の実現のための給与・勤務改善の要望活動の強化」
- ④「明るく希望がもてる、職務に専念できるための人事要望」
- ⑤「県民・保護者に信頼される教職員団体としての組織の強化・拡大」

が、承認された。また、本部執行新役員も承認され、令和二年度の執行体制がスタートした。

令和二年度全日教連行事ならびに香教連行事中止のお知らせ

今年度開催予定の全日教連ならびに香教連、教文研の行事等については、新型コロナウイルス感染症リスクを考慮して、下記の行事は中止となりました。大変申し訳ございませんが、御理解の程よろしくお願いいたします。なお、九月以降の行事等の有無につきましては、昨今の状況を鑑みて各関係団体事務局と検討中ですので、決まり次第、香教連新聞やHP等でお知らせいたします。

第三十七回 教育研究全国大会(宮崎大会)

〇日 程 八月一日(土)～二日(日)
〇会 場 宮崎県宮崎市

第四十二回 香教連教育研究大会

〇日 程 八月二十一日(金)
〇会 場 サンポートホール高松

※今年度、第七十二回日本連合教育会研究大会香川大会に兼ねて開催することになっていたが、昨今の状況で今年度の開催が不可能となったことが決定されたため。

令和二年度 四国教育合同研修会

〇日 程 八月二十二日(土)～二十三日(日)
〇会 場 高知県高知市

公務員の定年延長について

政府は令和2年5月21日、検察官を含む公務員の定年延長を盛り込んだ国家公務員法改正案を廃案にする方針を固めた。しかし、廃案を決定したわけではない。地方公務員においては、国家公務員の定年延長を受けて延長される可能性が高い。現時点では「現在60歳の国家公務員の定年を2022年度から2年ごとに1歳ずつ引き上げ、2030年度に65歳とする」となっている。下表は現時点の内容での公務員の定年延長を表にあらわしたものである。再度審議入りの可能性は皆無であるが、今後の国の動向を注視していく必要がある。

定年年齢		60歳		61歳		62歳		63歳		64歳		65歳	
生年月日	定年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
1961年度生	60	59	60										
1962年度生	61	58	59	60	61								
1963年度生	62	57	58	59	60	61	62						
1964年度生	63	56	57	58	59	60	61	62	63				
1965年度生	64	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64		
1966年度生	65	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65